

## 週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2013.01.28-02.08

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

1月28日(月)

**中国などから部品調達を拡充**  
バイオニア/製造コスト2割減

バイオニアは、2014年3月期の製造コストの削減目標を2割に設定した。中国など海外のサプライヤーからの安価な部品の調達を増やすほか、自社生産品は設計を一部見直す。(1面)

**中国で特許調査**

ネットス/知財情報・技術分析を提供

ネットスは、中国で特許調査業務に乗り出す。北京の有力特許事務所が設立した特許調査会社をネットスが支援する。知財情報の周辺調査、市場や技術分析については浸透していない。(24面)

1月29日(火)

**乗用車6社、中国生産8.2%減**

昨年297万台/不買運動激

日系乗用車メーカー6社の2012年の中国生産は、前年比8.2%減の約297万台となった。日本車不買運動の影響で9月以降に販売が急減したことが響き、全メーカーが前年実績を割り込んだ。(5面)

**楢本チエン/中国で増産体制**  
産業用チェーン/天津工場

楢本チエンは、中国で産業用チェーンと、自動車部品の生産体制をそれぞれ増強する。京田辺工場に開発・設置した生産コストが半分の産業用チェーン新ラインを4月に天津工場へ移設。(7面)



1月31日(木)

**ショーワがシャフト工場**

2014年稼働/ホンダなど向け

ショーワは、中国に自動車用プロペラシャフト工場を建設する。2014年5月稼働する。ホンダなどに納める。現地化でコスト競争力を高め、中国や東南アジア諸国の需要に対応する。(7面)

2月1日(金)

**ホンダ、世界販売440万台**

中国25%増、75万台/今年目標

ホンダは、2013年の4輪車の世界販売目標を前年比15%増の440万台に設定した。米国では同9%増の155万台以上、中国では同25%増の75万台と2大市場での販売拡大をけん引役にする。(1面)

**西部電機、海外販売を本格化**  
アクチュエーター/中国で販売網整備

西部電機は、サーボモーター採用で小

型化した電動バルブアクチュエーターの海外販売を本格化。中国での販売網の整備が進んでいるため。2016年3月期に海外で4.5倍の4億5億円。(7面)

**食・医療、中国・ロシアに展開**

埼玉・群馬・新潟

埼玉、群馬、新潟の3県は、知事と商工会議所連合会代表による意見交換会を開き、食や医療産業を中国の北部やロシアに展開する可能性について、3県と産業界が協力で一致した。(24面)

2月4日(月)

**三菱樹脂、携帯向け参入**

リチウム電池用セパレーター

三菱樹脂は、リチウムイオン二次電池用セパレーター事業について、パソコンや携帯電話など民生用途で中国に参入する。供給元の長浜工場は、年産能力を約2.3倍の2700平方センチに増強。(1面)

2月5日(火)

**重慶にビジネスパーク**

三井物産・日揮・現地開発公司

三井物産は、日揮と重慶两江新区開発投資有限公司と合併会社設立で合意、当局から会社設立の許可。重慶两江新区のビジネスパーク「御臨産業園」の計画を策定。日本企業を誘致。(19面)

2月5日(火)

**中国ビジネス - 回復の兆し**

車販売下げ止まり/中国路線底打ち

中国向けビジネスが回復傾向。日本車の販売には下げ止まりの兆し。航空各社の中国路線にはビジネス需要が戻っている。ただ政治的な緊張に変わりにく、影響の払拭には時間。(深層断面=30面)

**中国軸受メーカーと資本提携**

日本精工/相乗効果

日本精工は、中国の軸受メーカーの中国寧波摩士集団(MOS)と資本提携する。MOSは安価なOA機器向けの小型軸受に強く、日本精工は自社の高付加価値品との相乗効果に期待。(6面)

2月6日(水)

**日系自動車、中国で販売網拡大**

ホンダ919店/マツダ450店

日系自動車メーカーが、中国販売が回復基調の中、再び出店攻勢をかける。ホンダは現地の販売店を2013年末までに1割増の919店舗、マツダは1割増の450店舗にそれぞれ拡充する。(6面)

**新興国のゴルフ場を開拓**

芝刈り機/共栄社

共栄社は、芝刈り機を中国や東南アジアなどの新興国では新設のゴルフ場に売り込む。海外向けは海外工場での生産に切り替える。中国工場に続きメキシコでも工場建設を検討。(8面)

2月5日(火)

**比I M I、マツダに供給**

メキシコで来年初

フィリピンのインテグレートッド・マイクロ・エレクトロニクスは、メキシコでマツダ車向け車載エアコン用部品の生産を2014年初頭に始める。IMIはEMS会社。(5面)

**ニチダイ、タイで鍛造金型**

駆動系部品用/日系向け増加

ニチダイは、タイ子会社で自動車部品用精密鍛造金型の生産を10月に始める。東南アジアで日系自動車部品メーカーから同金型の現地調達需要増に対応する。主に駆動系部品用。(7面)

**タイでプラ成形機の水回り機器**

カワタ/冷水循環装置・水処理装置

カワタは、タイでプラスチック成形機周辺の水回り機器の生産を6月をめぐりに始める。現地子会社を6月に設立、チラー(冷水循環装置)、冷温調機、水処理装置などを生産する。(7面)

**熱転写記録材の新工場**

マレーシア/大日本印刷

大日本印刷は、マレーシアにフォトプリント記録材に使う昇昇熱転写記録材の新工場を開設する。生産能力は月約600平方センチ。東南アジア諸国への輸出拠点に位置づける。(9面)

2月6日(水)

**オリックス、ミャンマー進出**

電力中心にインフラ投資

オリックスは、ミャンマーでの事業に乗り出す。電力関係を中心にインフラ投資を検討する。市場調査を進め、具体的な計画を詰める。6月までに結論を出す方針だ。(1面)

**蛇の目ミシン、タイ150万台**

低価格機種/増床が新工場

蛇の目ミシン工業は、タイ工場の生産能力を2013年度に25%増強、年120万台から同150万台にする。チョンブリ県の工場を増床するか新工場を建設する。低価格ミシンの需要が急増。(7面)

**ナミックス、台湾に工場**

電子部品材料/アジア供給拠点

ナミックスは、台湾・苗栗市の銅鑼サイエンスパークに絶縁材など電子部品材料の工場を建設する。2014年1月本格稼働。将来のアジア供給の最重要拠点と位置づける。(9面)

**日本・インド鉄鋼専門家が会合**

省エネ・環境/ガイドブック提示

日本・インドの官民の鉄鋼専門家による省エネ・環境に関する「鉄鋼官民協力会合」が始まった。日本の鉄鋼メーカーなどが推奨する環境技術のガイドブックを提示した。(11面)

**日系の工場立地に照準**

戸田建・前田建/競合本格化

戸田建設と前田建設工業が、インドネシアに駐在員事務所を2月中にも開設する。自動車はじめ日系の工場立地が相次ぐ。大手・準大手の足並みがそろい、激しい受注競争になりそうだ。(14面)

**上海に金型製造拠点**

岡谷鋼機/自動車部品向け

岡谷鋼機は、上海市で熱間鍛造用金型の製造会社を5月に稼働する。現地の自動車部品メーカーなどに金型を供給する。上海宇津野汽車模具の販売網に顧客を開拓する。(11面)

2月7日(木)

**トプコン、北京工場の増強中止**

光学機器/安定操業に懸念

トプコンが、北京で進んでいた光学機器工場の増強計画を中止していたことがわかった。生産能力を1.5倍程度に拡大する予定だったが、日中関係の悪化で安定操業が課題と判断。(7面)

**日本の空気清浄機、急拡大**

「PM2.5」大気汚染対策

中国で大気汚染や健康被害の原因とされる微小粒子状物質「PM2.5」が社会問題となり、現地で空気清浄機の需要が急拡大。日本メーカーの商品も1月に前年同月比2.3倍の売れ行き。(8面)

2月8日(金)

**帝人、中国に進出**

富裕層/睡眠時無呼吸治療機器

帝人は、医療機器事業で中国に2018年までに進出する。富裕層に照準を定め、上海市にある医薬品事業拠点を活用し、医療機関に睡眠時無呼吸症候群治療用機器などを売り込む。(10面)

## TELOP

**中国で省エネルギー製品認定**

オリエンタルモーター(29日8面)

**中大型商用車、東風汽車に譲渡**

日産(31日7面)

**垣境精機、タイ工場稼働**

金属ロール切断/自動車・電子部品

垣境精機は、タイ・バンコク近郊のバトムタニ市に完成した工場を3月稼働。自動車や電子部品関連の現地日系メーカー向けなどに各種金属ロールの切断や巻き取り加工を請け負う。(27面)

2月7日(木)

**最後の未開の地ミャンマー**

日本 - 存在感を示せるか

最後の未開の地ミャンマーを経団連の使節団が訪問。現地でティン・セイン大統領ら政府要人と会談。魅力ある市場に世界が注視する中、日本は存在感を示すことができるか。(深層断面=28面)



政府要人と会談する経団連使節団(6日=ネピドー)

**ホンダ、タイに新工場**

年12万台/洪水可能性低い地域

ホンダは、タイ南部のプラチンブリ県に4輪車の新工場を建設、2015年稼働。年産能力12万台で小型車が中心。洪水の可能性が低い地域。新興国向けの供給基地。446億円投資。(2面)

**奥野製薬、タイで表面処理薬**

東南アジア進出企業に照準

奥野製薬工業は、タイにメッキなどの表面処理薬を販売する現地法人を4月に設立する。東南アジアに拠点を設置するのは初めて。日本の製造業の進出で営業や技術支援の体制を強化。(11面)

2月8日(金)

**ミャンマーに中小企業使節団**

企業庁/50社派遣、直接交流

中小企業による官民合同ミッションが3月末、ミャンマーを訪れる。販路拡大や拠点設立を検討する中小を50社程度募り、インフラ関連など現地企業と直接交流する。中小企業庁が主催。(1面)

**経済協力で覚書**

経団連・ミャンマー商工会議所連盟

経団連は、ミャンマー商工会議所連盟と経済協力を推進することで合意した。ヤンゴン市内で覚書を締結。成長を取り込みたい日本と、日本の資金力や技術力に期待するミャンマー。(2面)

**電通、ミャンマーに支店**

地元・広告会社と連携

電通は、ミャンマーの最大都市ヤンゴンに、東南アジア・オセアニア地域の統括子会社「電通アジア」が支店を開設した。地元の広告会社と連携、テレビ・新聞、イベント関連広告を提供。(2面)

**日立金属、インド進出**

車用サス/現地企業に部品委託生産

日立金属は、自動車用鋳物部品のサス

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」  
面の今回は25日(月)に掲載します。**広州に食品スーパー**

マックスバリュ東海(31日18面)

**三門原発格納容器上ぶた工事完了**

米ウエスチングハウス(4日8面)

**植物工場、香港社に販売**

三菱化学/水耕栽培(5日11面)

**特発肺線維症薬、製造販売を申請**

GNI(5日14面)

**ソレイジア、中国で開発**

抗がん剤の副作用治療薬(5日14面)

**G M、月間最高を記録**

1月中国31万台(時事=6日6面)

**中国に流体変速機で合併**

岡村製作所(6日8面)

**日阪製作所、追加出資50万ドル**

進和の中国子会社向け(6日8面)

**深圳の工場を移転・増強**

長野日本無線(6日9面)

**中国向けにミストサウナ機能搭載**

パナソニックエコ/乾燥機(6日9面)

**フッ素樹脂製品、上海に新会社**

日本バルカー/共同出資会社(7日11面)

**中国で勤怠管理システム**

NCS/給与計算と連携(8日9面)

**ひと****見当違い**

「『中国はすぐに製品をコピーし、ビジネスのモラルがない』と怒るのは見当違い」と指摘するのは、ORIENTAL社長の萩葉荒一朗さん。販路がなければ売りさばけない。バイヤーが中国の工場にコピー品の製造を依頼しているのが主因という。(29日=30面)

「『中国はすぐに製品をコピーし、ビジネスのモラルがない』と怒るのは見当違い」と指摘するのは、ORIENTAL社長の萩葉荒一朗さん。販路がなければ売りさばけない。バイヤーが中国の工場にコピー品の製造を依頼しているのが主因という。(29日=30面)

ペンションでインド市場に進出する。技術供与した現地企業に部品を委託生産してもらい、日系や現地のユーザーに供給。自社ブランドで販売。(10面)

**東伸、インドネシア工場稼働**

車部品/大型ファインブランキング

東伸は、初の海外拠点・インドネシア工場を3月生産開始。新工場に400トプレス機1台を導入。ファインブランキング800トプレス機1台も国内から移設、自動車部品を生産。(23面)

**ベトナム政府職員が常駐**

埼玉県/ハノイのサポートデスク

埼玉県は、ベトナム・ハノイ市に設置している「埼玉県サポートデスク」内に、ベトナム政府の計画投資省職員の常駐で最終調整。県内企業と同国の関係政府機関とのつなぎ役に。(26面)

## TELOP

**I H I、タイで長期保守契約**

発電用ガスタービン(29日7面)

**J F E エンジ、蓄熱空調を納入**

タイ電力公社向け(29日7面)

**「クールE M S」4月試行**

台湾など/J A L・J P(30日17面)

**スギノマシン、インドネシア現法**

販売・メンテナンス(31日8面)

**クラリオン、インドに販社**

カーオーディオ拡販(4日7面)

**キリン、タイ酒類大手に売却**

シンガポール社株式(4日19面)

**ホシザキ電機、韓国に販社**

製氷機(5日7面)

**韓国工場に追加投資**

日本電気硝子(5日11面)

**タイ複合火力2号機受注**

住商/スイス社と共同(5日15面)

**J R 東、シンガポールに事務所**

海外プロ参画狙う(6日15面)

**三井造船、マレーシアで受注**

コンテナクレーン/138億円(7日1面)

**特許の審査高度化、投資後押し**

日アセアン知財プラン(7日2面)

**日産、東南アジア開発拠点拡充**

テストコースなど建設(7日5面)

**N E C、印 S R M 大と開発**

新興国向け電力管理(7日9面)

**新日鉄住金君津を視察**

インド政府関係者ら(7日11面)

**不二製作所、タイに営業拠点**

東南アジアは工場数力(7日24面)

**ひと****地理的優位性を生かす**

「チャイナプラスワンではないが、これから発展するアジアの拠点としてタイ近辺でやるうと考えた」と戦略を明かす日本製紙グループ本社社長の芳賀義雄さん。新工場は2014年操業。タイ拠点は「地理的優位性を生かし、東南アジアへの輸出も考えたい」。(31日=13面)